

## きほくのまち人探訪

### 「色とりどりの水引細工、一緒に楽しみませんか？」



わたなべ まさみつ  
渡邊 正光さん

愛治公民館で月1回行われている「水引教室」で、講師を務めている渡邊正光さん。ゴツゴツとした手先から繰り出される繊細な技で、多彩な水引細工を制作し、町内の小学生にプレゼントする活動も行っています。

難病の骨化症を患い、長く入院生活を余儀なくされたことが、水引を始めたきっかけ。水引の他にも、折り紙や木工品づくりなども得意で、今は「クラフトバンド教室」に通い、新たな手仕事の技を習得中です。

7月30日に四国中央市で開催された「第5回水引結び検定」にチャレンジし、最も難しい2段（亀結び）に見事合格しました。

本やインターネットに掲載されている情報を参考にしながら、自分なりにアレンジを加えて、花・果物・生き物・アクセサリなど、数々の水引細工を生み出す渡邊さん。「新作を考えるのが大変よ」とつぶやきながらも、作品を手にする人の喜ぶ姿を想像しながら、これからも様々な手仕事に挑戦していきます。



## ALTの鬼の里Diary ~Brian編~

### 「Today is the youngest day in my life」



私が人生の中で最も影響を受けた人は父です。

私の父は20代の頃にオーストラリアからアメリカに引っ越してきました。そして50代の頃、ラテンアメリカの人たちとコミュニケーションがとれるようにスペイン語を学び始めました。父は50代にも関わらず英語が話せないメキシコ人やプエルトリコ人やキューバ人の友達を作っていて、私はとても驚くとともに、とても羨ましく感じました。

父のように英語を話せない人々と関係を築くことに憧れを抱き、私は19歳の時にスペイン語の勉強を始めました。スペイン語で会話をできるようになってから、色々な国の人たちと友達になることができ、人生

がより豊かになりました。同時に、外国語を学ぶことの難しさを強く感じました。子供の頃から移民の方に関心が有りましたが、スペイン語を学び始めてからさらにその想いは強くなりました。

今、私は外国に住んでいるのでそのころの移民の人たちと同じような体験をしています。だからこそ、助けてくれた人や教えてくれた人にとっても感謝しています。いつもわかりやすい日本語を使ってくださりありがとうございます。これからも頑張ります。皆さん、成し遂げたいことがあれば挑戦するのに遅すぎることは決してないと思います。

## 地域おこし協力隊活動日記

### 「来年の夏休みは一緒に工作しましょう！」

地域おこし協力隊2年目  
のぐち たかひろ  
野口 貴博



コワーキングスペース warmth にて活動している野口です。今年の5月にオープンしてから早4カ月が経過しました。仕事での利用だけでなく、イベント開催や学生が宿題などで利用してもらっております。

現在は色々な世代の方が作れる工作商品を検討しているところです。今年の夏休みは機会を逃しましたが、このような工作体験を小学生向けのプログラムにして、大人と子どもが楽しめる内容を作り、施設周辺のにぎわいにつながればいいなと考えているところです。



▲全年代が作れるように検討中の工作商品